

俊子久子の合唱

嬉しい嬉しい。お爺さん！

たくさんお禮を云ひますわ

だけどいつたいこの家は

どうした人の住むお家！

お伽爺の獨唱

お伽の家と云はれてる。

たつた一つのこの窓が

開かずの窓と云はれてる。

清いころの人だけは

中へ入つてかまはない。

穢れを知らぬそなたたち

その悲しみを忘れずに

少女ごころく失くさずに

大きくなるが一ばんちや

さあさ後へついで！

三人下手へ退場。三人が家へ入つた頃、洋館の中から大勢の合唱の聲が聞えて来る

合 唱

ようこそおいで下すつた

こゝは綺麗なお伽の家よ

この世に又なき喜びの家

この世に又なき楽しみの家

心の王國、たましいの

いとなつかしい安息所よ。

不許複製



大正九年十二月十一日  
大正九年十二月十五日  
日發

行刷

定價  
錢拾九金

著者 水谷 勝

發行者 飯尾 謙 藏  
東京市神田區南神保町十六番地

發行所

東京市神田區南神保町十六番地  
尙文堂書店  
振替東京一九三四  
電話九段一七五四

一知井白 一二ノ一町代土美區田神市京東 者刷印

西條八十先生著

抒情  
小詩 靜かなる眉

第一編 忽ち八版出來

定價 金九拾錢 送料 金六錢

157  
189

終

